

東京・山梨地区会通信

第2号

東京・山梨地区会 令和4年度役員

会 長 澤部 祥子（国立成育医療研究センター）

事務局長 佐藤 裕子（NH0村山医療センター）

理 事 御園生 圭太（NH0東京医療センター）

山本 歩（国立国際医療研究センター病院）

村山 智紀（国立成育医療研究センター）

鹿毛 亮佑（NH0村山医療センター）

三上 大（NH0甲府病院）

会長挨拶

東京・山梨地区会会長
国立成育医療研究センター 臨床検査部
臨床検査技師長
澤部 祥子



東京・山梨地区会会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、地区会活動にもご多忙のなかご協力頂き、心よりお礼申し上げます。令和4年度会長を務めさせていただいております、国立成育医療研究センターの澤部です。

昨年7月に開催された定期総会にて新執行部が承認され、令和4年度の事業方針である地区会施設間会員の情報交換及び共有化、関信支部との連携、研修会および文化活動、広報活動、と会務にあたっていました。今年度も新型コロナウイルスの影響で多くの事業が制限されることとなりました。そんな中でも、昨年開催された第50回国臨協関信支部記念学会の地区会コーナーにて「我が地区会の〇〇記念」と題して作成したスライドが優秀賞を頂くことができ、会員の皆様のご協力のたまものと心から感謝申し上げます。

さて、昨年度に創刊号として始めた「東京・山梨地区会通信」ですが、この度、第2号を発刊することとなりました。今年も多くの新入技師や他地区会から異動してこられた方が東京・山梨地区会の新会員となりました。なかなか対面での交流がむずかしい中、少しでも他の施設の方々との情報交換の場になれば幸いです。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となったことで、世の中では規制緩和が進み、以前の生活に戻りつつある状況ですが、われわれ医療機関に勤務する者にとっては、まだまだ油断できないものと思われます。今後はしっかり感染対策をしながら、少しずつでも対面式での交流ができるよう進めていきたいと思います。今後とも会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



施設紹介

国立成育医療研究センター



<どこにあるの?>

国立成育医療研究センターは東京都世田谷区大蔵の意外と緑に囲まれた場所にあります。

最寄りの駅は小田急線の成城学園前駅と祖師ヶ谷大蔵駅の2つです。国立病院あるのですが、どちらの駅からも歩くと20分以上かかるという…。

もちろんバスも出ているので来院される際はご利用ください。

<どんな病院?>

当センターは、日本最大の小児、周産期、産科、母性医療を専門とする施設です。受精・妊娠に始まり、胎児期、新生児期、乳児期、学童期、思春期、成人期へと至るライフサイクルに生じる疾患に関する医療（成育医療）と研究を行っています。



子供たちが遊ぶ遊具（写真左）可愛らしい色の待合スペース（写真真ん中）ファシリティドッグのマサ 病棟の子供たちと触れ合ってくれます（写真右）

<臨床検査部について>

当検査部は、臨床検査部30名（育休1名、非常勤4名、看護師2名含む）、SRLプランチ職員20名、計50名で業務に取り組んでいます。

部門は検体検査室、生理検査室、輸血細胞療法検査室、細菌検査室、病理診断部、外来採血室にわかれており、検体検査室は完全ランチとなっています。

小児・周産期特有の希少な症例や、心臓カテーテル、CAR-T細胞療法、生後間もないベビーの採血などいろいろな経験をするのできる検査部です。



また、ISO15189を取得しており、正確な検査データを迅速に報告するため、日夜、精度管理や記録類の管理、SOPの見直しに追われております。

成育は小さな患者さんが多く、検体が微量、取り直しがきかない、生理検査や採血では、意思疎通が上手くとれないなど苦労することも沢山あります。そんななかで、どうしたら患者さんの不安を取り除けるか、保護者の方の信頼と協力を得ることができるのかを常に考えながら検査に臨んでいます。パワフルな子供たちに囲まれて毎日があっという間に過ぎていきますが、患者さんやご家族の温かい言葉を糧に日々頑張っています。

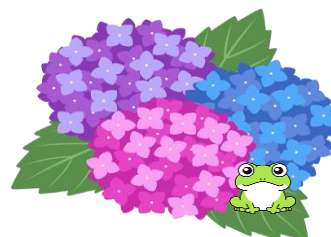
<新型コロナウイルスについて>

新型コロナウイルス検査については、FilmArrayを導入し、24時間体制で検査部が対応しています。FilmArrayは特別な技術等が必要なく、閉鎖状態で検査が自動的に進むため、コンタミネーションの可能性も低く待ち時間の短い検査方法です。新型コロナが流行するまでPCR検査を経験している技師はほとんどいませんでしたが、勉強会を開催するなどスムーズに検査のトレーニングを行うことができました。

また、現在は日勤帯限定ではありますが、手術中に症状の出ってしまった患者さんに対応するべく、より検査結果までの時間の短いID NOWを追加で導入しています。

世の中では、新型コロナウイルスが5月から五類感染症に引き下げられましたが、現時点では検査数に大きな変化は見られません。しかし、入院の面会時間が長くなり、院内での隔離待機がなくなったりと、患者さんやそのご家族の負担は減ってきているように思います。

まだまだ油断は出来ませんが一人でも多くの方々が成育で治療できて良かったと思えるような病院づくりを担えるよう、これからも臨床検査部一同頑張っていきます。





独立行政法人
国立病院機構

甲府病院

National Hospital Organization Kofu National Hospital



令和5年4月1日付けで横浜医療センターより赴任いたしました。遠藤隆と申します。

6施設目の転勤になります。以前、東京・山梨地区会の施設に勤務していましたが、その当時まだ地区会自体がありませんでしたので、今回が初と言うことになります。

甲府に赴任して思ったことは富士山が間近に見えること。前施設横浜からも富士山が見えましたが、そこまで大きく見えなかったのが驚きました。そして甲府の地は見渡す限り山々に囲まれていて、都会では味わえない景観で癒されます。

転勤に伴い単身赴任になりました。一人暮らしも初めてでいろいろやる事が多く苦労しております。やはり食事の面が一番大変ですね。コロナ禍で外に出ていなかった分、だいぶ体重の方も増えましたので、心機一転自炊を頑張っスリムな体を目指したいと思います。コロナが5類に落ちて、以前のような生活を取り戻しつつあります。集合型の研修会や学会も再開され、皆様にお会いできる日も来ると思います。その節はどうぞよろしくお願いいたします。



研究検査科
臨床検査技師長 遠藤 隆

東京・山梨地区会の皆様！こんにちは！千葉医療センターから日本医療研究開発機構（AMED）への2年間の出向期間を終え、令和5年4月1日付けで昇任にてNH0甲府病院に赴任しました宮澤でございます！AMED時代にも地区会に混ざっていたのですが、今後はどっぷりと地区会に参加させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

今まで微生物検査中心に従事してきており、2年ぶりの病院勤務&検体系の主任としてドキドキ、ワクワクな心情でございますが、持てる力を振り絞り頑張っていきます！

山梨県甲府市は生まれ故郷となり、故郷に錦を飾る形で戻ることができました。妻と子連れで約13年ぶりの山梨での生活が楽しみです。ですが、発展したような・・・？変わっていないような・・・？そんな故郷を見て懐かしさと少し寂しさを感じる今日この頃です。

新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、対面開催の地区会（飲み会）をチョー楽しみにしております。



研究検査科
主任臨床検査技師 宮澤 智孝

山梨県甲府病院に新人として採用されました、山中玲奈です。私は検査技師として常に学ぶことを続け、何か専門性に特化した技師になりたいと考えています。

着任して四月から検体検査に携わっています。約一か月足らずであります。多くのことを日々学んでいます。検体検査と聞くとただ検体を機械に流すことだけと考えていましたがそんな表面的なことではなく、検体を流して、その結果は本当に真値なのかと検討、そして、その機械が根拠のある数値と示すために精度管理を行うことが検体を流すうえで重要であることを学びました。技師は患者さんの数値結果を見て医師にデータを送っています。学生の頃、臨床化学の分野は、この値が出たら何かこの病気が考えられる可能性があることを学んできたため、初めのうちは数値を送るときに患者背景を考えてしまい、中々結果を送ることができませんでした。もちろん患者背景を考えるのはデータを送るうえで大切ですが、患者さんのデータは機械として本当に正しいのかという精度管理に重きを置いて結果を医師に送らなければならないことを学びました。他の部門に携わっても考えること、学ぶことを日々更新し続けていき専門性を高めていきたいと考えています。



研究検査科
臨床検査技師 山中 玲奈



独立行政法人国立病院機構
東京医療センター

4月1日付で下志津病院より配置換となりました臨床検査技師長の益田泰蔵です。

東京・山梨地区会に所属するのは初めてになりますのでよろしくお願いいたします。

着任してから1ヶ月ほど経ちましたが、まだ入ってくる情報等を期日までに処理することに追われている日々が続いています。

東京医療センターに勤務するのは初めてですが、以前国立がんセンター中央病院勤務時代に、東京医療センター敷地内にがんセンターの宿舎がありました。

20年前にその宿舎に入っており、数年東が丘の地で生活していた経緯があります。

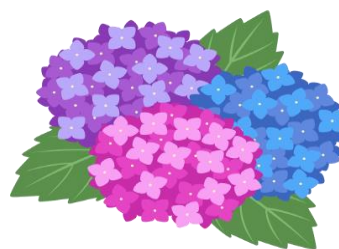
その宿舎は、すでに取り壊されて駐車場になっていましたが、変わらぬ風景もありその当時を思い出して懐かしんでいる今日この頃です。

東京医療センターも3年前にプラントラボを解消し、検体検査も自主運営となりました。ISO 15189を取得しているので書類等の整備は大変ですが、臨床検査科が一丸となって業務に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症も5類へと移行しました。地区会のあり方も変わってくるかもしれませんが、なるべく皆様とは対面でお会いし、いろいろ情報交換させていただき交流を深めていければと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



臨床検査科
臨床検査技師長 益田 泰蔵



4月1日付けで横浜医療センターより配置換えで参りました阿部浩です。東京・山梨地区会にお世話になるのは初めてとなりますのでよろしくお願いいたします。私は、東京病院で賞金職員としてお世話になり、埼玉病院、国立がんセンター中央病院、霞ヶ浦医療センター、国立療養所多摩全生園、横浜医療センターと東京医療センターで7施設目となります。

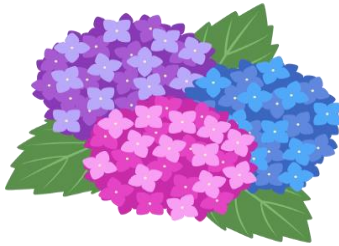
これまでを振り返りますと、ハンセン病、救命救急、がん専門など特色ある経験をさせていただきました。今まで担当した部門は生化学検査を中心に検体検査に従事してきました。

東京医療センターでは採血室での勤務となり、他の職員の協力を得ながら日々患者さんと向き合っています。若い技師の方たちはハキハキと対応しており、見習うことも多くあることに感心しています。採血室は患者さんが病院に来て初めて職員に対面する部署ですので職責を果たせるように努力していきたいと思っております。

最後になりますが、東京・山梨地区会の益々のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



臨床検査科
主任臨床検査技師 阿部 浩



初めまして。

霞ヶ浦医療センターより参りました千葉雅裕と申します。出身は立川市で、20年ほど前に非常勤として国立国際医療センターに勤務していましたので、久しぶりの都内勤務となります。とはいえ、自宅は茨城県にあり、片道2時間の通勤時間をどう有意義に使うか悩んでいます。読書が好きなので、いつも鞆に小説を入れています。始発電車で揺られながら読書は眠気に負け、帰宅時は満員電車で本が開けないのでなかなか話が進みません。それでも本屋に行くといついつい買ってしまうので、数は増えています。この自己紹介を書いている時は一般検査を担当していますが、このたび急遽治療を担当することとなりました。CRCとしての未知の業務に不安もありますが、なかなか経験できることではなく、臨床検査とはまた違ったアプローチで患者さんの役に立てることによる期待感もあります。自分に出来ることを精一杯やっていく所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。



臨床検査科
主任臨床検査技師 千葉 雅裕

はじめまして。令和5年4月4日より東京医療センターにてお世話になっております大田佳秀と申します。

今現在は検体検査室の受付業務から携わっており、学校で学んだ事と臨床の現場で求められるスキルとのギャップに奮闘しております。今後採血業務に携わる際には、患者様への接遇というまた一つ異なるスキルを求められることへの不安もありますが、いついかなる時でも患者様中心の医療を行っているということを念頭に置き業務に励んでいきたいと思っています。ゆくゆくは学会や勉強会へ積極的に参加し、一検査技師としての知識とスキルをより一層研鑽していく所存ではありますが、まずは今携わっている業務に慣れることが目の下の目標です。社会経験も少なくまだまだ未熟である自身の至らなさを痛感する日々ですが、一日でも早くお役に立てるよう精進していく所存ですのでご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願い致します。



臨床検査科
臨床検査技師 大田 佳秀

はじめまして。令和4年6月1日付で東京医療センターに採用となりました山田みず紀と申します。出身は青森県八戸市で、茨城県の大学を卒業しました。卒業後は、私が産まれた病院でもある弘前大学医学部附属病院に就職し、2年2か月間生理検査業務に従事しておりました。特に心電図が好きで、2年目には心電図検定1級を取得することができました。技師1年目から患者さまと接することで、検査データだけでは分からない患者さまの具合や表情などを直に感じ、医療従事者としての根幹となるホスピタリティをもつことができました。その一方で、高校時代から興味があった病理検査の仕事に携わりたいという気持ちが強くなり、転職を決意しました。ご縁あつて病理検査室に配属されてから1年が経過しようとしています。まだまだ自分の未熟さ、勉強不足を痛感する毎日です。病理検査技師の一員として今後も自己研鑽に励み、技術を磨いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床検査科
臨床検査技師 山田 みず紀

はじめまして。今年度より東京医療センターに採用となりました小林ひかると申します。入職してから約1ヶ月半が経ちますが、業務を覚えながらまだまだ忙しい日々を過ごしています。先輩技師の方々の働く姿、業務での対応などを間近で感じ、知識や技術など多くのことを学ばせて頂いています。まだ不慣れなことで戸惑うこともありますが、毎日の新しい経験が自分の刺激となり、臨床検査技師としてより成長していけるようどのようにして業務に向き合っていくかを自分なりに考え仕事をこなしている最中です。働く中で基本の業務はもちろんのこと、医療の現場は突発的なことが多く迅速で適切な判断が大事であることを実感しています。質の高く信頼される検査を行っていく上でお力になれるよう1日でも早く仕事を覚えると同時に、臨床応変にさまざまな事態にも対応できる臨床検査技師となるため日々精進して参りたいと思います。これから研修会等で皆様にお会いする機会があるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



臨床検査科
臨床検査技師 小林 ひかる



はじめまして。この春から国立成育医療研究センター病院に配属となりました。加藤維斗と申します。紹介文ということで、私の基本スタンスを簡潔に書きたいと思います。私は高校生の頃、剣道少女でした。部活の夏合宿は秩父で行っており、アツツイ体育館で励んだものです。そこで、私は自身の軸となる名言に出会いました。それは体育館の天井付近に大きな文字で掲げられており、“鍛えよ精神・鍛えよ体力”と書かれていました。当時は“うける～”としか思っていませんでした。ところが、就職し、自分自身の力で人生を歩み始めた途端、これが名言であると確信いたしました。強靱な精神力があっても、体力がなければ成せず、強靱な体力があっても、精神力が伴わなければ意味をなさないので。

今まで、多くの人と仕事をしましたが精神力と体力のバランスが取れている人こそ、物事を前に進める力を持ち、仕事とプライベートを両立させ、社会から必要とされる人物でした。鍛え方は様々ですが、私は私のやり方で鍛錬を重ね、理想の人物像に近づけるよう日々試行錯誤しています。共に鍛えたい方募集中です。どうぞよろしく願いいたします。



臨床検査部
主任臨床検査技師 加藤 維斗

はじめまして。今年3月に大学を卒業し4月より国立成育医療研究センターで臨床検査技師として入職しました竹内優希です。

私は生まれてから大学卒業まで新潟県に暮らしていました。今は東京という大きな街での暮らしに期待と不安を抱えながら日々過ごしています。私は小さいころから医療系の職種に就きたいと思っており、その中で臨床検査技師という職業に興味を持ち挑戦したいと思うようになりました。輸血部門に配属されてから約1か月が経ちましたが、想像していたよりも頭で柔軟に考えることや体力が必要であること、そして関わる人々への気配りとコミュニケーションの大切さを感じています。成育の先輩技師の皆様はとても温かく、何事にもフォローや助言をたくさんしていただき、多くのことを吸収でき毎日がとても充実しています。一人の技師として多方面で活躍できるよう向上心を持って精進したいと強く思っています。まだまだ未熟ですが皆様には追いつけるように頑張ります。これからよろしくお願いします。



臨床検査部
臨床検査技師 竹内 優希

初めまして。昨年8月より国立成育医療研究センターの非常勤臨床検査技師として勤務しております。宮川祐美子と申します。病理検査室に配属となり、今年5月で9か月目になりました。入職してから1～2か月頃は恐る恐るやっていましたが、今では業務には大分慣れてきたと思います。ですが、知識や技術が足りないなと感じることが多くあり、先輩技師の方々の力を日々感じています。二級臨床検査士の資格取得に向けて取り組んでいるので、勉強会や研修会にも積極的に参加して、自らを成長させていきたいと思っています。私のストレス解消法は、お家でヨークシャテリア（6才）と遊んで過ごすことです。帰宅したときに全身でお迎えしてくれるところがとても可愛く、癒されます。徐々に研修会なども現地参加のものが出てきますので、皆様とお会いできる日が楽しみです。よろしくお願いいたします。



臨床検査部
臨床検査技師 宮川 祐美子

Newcomer

Introduction No.4



国立研究開発法人

国立国際医療研究センター病院

Center Hospital of the National Center for Global Health and Medicine

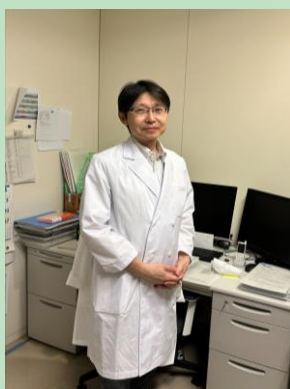


東京・山梨地区会の皆さま、こんにちは。
4月より、国立国際医療研究センター病院勤務となりました、北沢敏男です。

東京・山梨地区会にはご縁が強く、平成30年から甲府病院で、令和3年からは東京医療センターで勤務しており、当病院で3施設連続所属ということになります。現在勤務している当病院での勤務も、通算3回目の勤務です。平成3年から一般技師として免疫血清検査を6年担当し、平成18年からは病理検査主任として4年9ヶ月勤めました。

元々は長野県出身の田舎者ですが学生時代を含めて東京で結構な時間を過ごしています。長野の迷い猿が都会で右往左往している。といったところでしょうかW
さて、私は音楽が大好きで、主にプログレやメタルを中心に懐かしい曲を聴いていますが、近年ではスラッシュメタルも好んで聴きます。

こんな人物です。お会いしたときには、気軽に声をかけていただけたらと思います。
引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師長 北沢 敏男

国立がん研究センター中央病院から国立国際医療研究センターへ昇任で異動いたしました松尾理恵と申します。よろしくお願いいたします。国際医療研究センターは20年前の新人時代に勤務しておりましたが、建て替えにより外観も大きく変わり、初めての病院に赴任したような緊張感で、心新たに業務しています。

趣味は、キックボクシングと筋トレ、お菓子作りです。キックボクシングと筋トレは18年続けていて、お菓子作りはパティシエの先生に付いてお菓子作りを習っており、フィナンシェ、マカロン、フルーツタルトなど焼菓子が得意です。以前はお菓子を作って職場の皆様に配り、好評を得ていましたが、コロナ禍でそれもできず、お菓子の焼き型を使う機会が無く、寂しい限りです。

COVID-19が5類感染症となり、そろそろ交流会解禁も近いのではないかと感じられるようになりました。学会、交流会等で皆様とお会いできることを楽しみにしております。



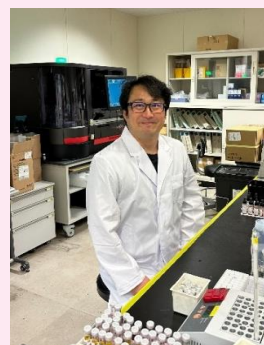
中央検査部門
副臨床検査技師長 松尾 理恵

令和5年4月1日付けで国立がん研究センター東病院から 着任しました丹 朝史（タントモフミ）です。東病院では単身で通勤しておりましたため、通勤時間は15分ほどでしたが、自宅から通勤ということではまずそこら過酷な状況であります・・・

慣れるまでにどれ程の期間がかかるのか自分自身でも不安しかありません。まずは周りのスタッフの方々に力添えをいただきながら、ご迷惑とならないよう業務に邁進したいと考えております。着任早々周りのスタッフの方々の暖かさに感動しているところです。

大変過酷な施設ではありますが、忙しい中にも働く楽しさや、やりがい、生きがいをみつけながら周りのスタッフの方々と過ごしていき、きっとこれから盛沢山なミッションをこなさなければならなくなっていくとは思いますが、少しずつ確実に円滑な業務運営に少しでも尽力していけたらと思っています。

しかしながら、まずは通勤訓練からとなります。ご容赦いただきながら長い目で見守っていただくと幸いです。
世間ではコロナが5類引き下げとなりましたが、まだまだ業界全体としては気が許せないところは全く変わりありません。地区会の方々と交流を深め、いろいろなご助言をいただきたいところではありますが、もう少しの辛抱なのかなと思いを馳せつつ、今後会員皆様と交流の場でお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



中央検査部門
主任臨床検査技師 丹 朝史

東京・山梨地区会の会員の皆様、お初にお目にかかります。4月1日付けで国立国際医療研究センター病院へ参りました、中山諒太と申します。前施設である災害医療センターでは、生化学・免疫検査と病理検査を、それぞれ3年と6年担当し、合計約9年間お世話になりました。そして臨床検査技師として10年目の節目となる今年からは、主任を拝命し、ルーチン業務に身体を慣らしつつ、主任業務、ISO関連業務など今まで経験してこなかった事に関しても、周囲の方々に支えられながら、なんとか取り組んでいる状況です。出身は山梨県の北部に位置する北杜市という風光明媚な地域で、自然に囲まれながらのんびりゆったり生きてきたためか、私生活でものんびりマイペースに過ごしておりますが、仕事ではスピード感を大事に取り組んでいきたいと思っております。今後は、微力ではありますが東京・山梨地区会の一員として貢献していけたらと考えております。よろしくお願ひ致します。



中央検査部門
主任臨床検査技師 中山 諒太

東京・山梨地区の皆様、初めまして。今年度より国立国際医療研究センター病院に入職となりました、三橋と申します。私は大学卒業後、宮崎大学医学部附属病院で検査技師として勤務しておりました。今年度は技師6年目となります。前職では検査部として4年（検体検査1年、生理検査3年）、ハートセンターにて超音波検査専任技師として1年勤務しておりました。専門分野は循環器エコーです…と言いたところですが、認定試験を受けたばかりでまだまだ勉強中です。国立国際医療研究センター病院では生理検査室に配属となりました。個人的には、超音波検査画像と病理組織の比較、救急医療などにも興味があり、エコー以外の分野も積極的に勉強していきたいと考えています。至らない点も多々ありますが、病院および検査部門に貢献できるよう、そして何よりも検査を通じて患者様に貢献できるよう、日々精進してまいります。皆様、ご指導のほどよろしくお願い致します。



中央検査部門
臨床検査技師 三橋 啓太

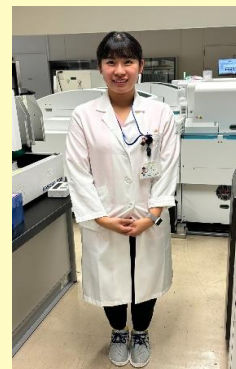
はじめまして。国立国際医療研究センター病院で非常勤の臨床検査技師として働いております藪下（ヤブシタ）凌平と申します。臨床検査技師になろうとしたきっかけは父が臨床検査技師として働いており、臨床検査技師という職業について調べていく中で、医者が正しい判断を行えるように知識や技術を磨き、サポートできるところに魅力を感じたことです。大きい施設の病院で働いてみたいという思いから入職いたしました。現在は病院にて、生化学・免疫学を主に担当させていただいております。臨床検査技師として初めての職場であることや、700床以上というとても大きい施設であることもあり、毎日忙しく、仕事をこなしていく事で精いっぱいでしたが、最近では仕事の内容や、採血などの自分でできることの幅が広がってきており、忙しくともとても充実した毎日を送っております。まだまだ臨床検査技師として知識や経験不足なところがありますが、毎日成長し病院の職員の一員として貢献できるよう頑張っております。今後ともよろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 藪下 凌平

初めまして。4月1日より国立国際医療研究センター病院へ配属となりました中村紀菜子です。以前は国立がん研究センター中央病院で非常勤職員として2年間血液・一般検査室で勤務しておりました。当院では生化学検査室配属と配属先が変わったり、日当直業務が始まったりと、慣れないことばかりで戸惑うことも多いですが、親切に教えてくださる先輩方のもと一生懸命業務に取り組んでいます。自宅では、愛犬のトイプードルと過ごすことで日々癒されています。愛犬の誕生日には大用ケーキでお祝いしたり、可愛い洋服を見つけたら買ってあげたりと溺愛しています。また、私は美味しいものを食べる事が好きなので余裕が出てきたら、病院周りを開拓してみたいと思っています。何かおすすしがあれば教えていただけると嬉しいです。

まだまだご迷惑をかけてしまうことばかりですが一刻も早く仕事を覚え戦力として働けるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 中村 紀菜子

国立国際医療研究センター病院中央検査部門へ配属となりました、高橋由香と申します。微生物検査を担当しています。前職では微生物検査を中心として、その他輸血検査や一般検査業務等にも携わってきました。以前より微生物検査においてより多くの経験を積みたいという思いがあり、今回ご縁があって転職することを決意しました。趣味は読書と楽器演奏です。学生のころよりクラリネットを続けており、現在も地域の吹奏楽団に所属しております。社会人楽団では様々な年代の様々な職種の方と音楽を通して関わりを持つことができ、一緒に協力してお客様に聴いていただけたような音楽を作ることとはとてもやりがいがあり楽しいです。まだ不慣れなこともたくさんありますが、周りの皆さんに支えていただきながら患者さんに有益な検査結果を提供できるよう努力していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 高橋 由香

4月より甲府病院から国立国際医療研究センター病院に異動になりました林 愛理と申します。今まで同じ東京・山梨地区会でお世話になっておりました。今後ともよろしくお願いいたします。大学卒業後は甲府病院に配属となり、5年間勤務いたしました。国立国際医療研究センター病院では、甲府病院でも携わっていました病理検査室に配属となりました。今までに経験したことのない検体数や症例に、戸惑うこともあります。早く一人前になり病院に貢献できるよう邁進してまいります。今まで、山梨の自然豊かな場所に居住していましたので、東京の人の多さに圧倒されていますが、今までより便利なことも多く、東京生活を堪能したいと思います。私は食べることが大好きなので、東京の美味しい食べ物をたくさん食べたいと思います。東京・山梨地区会でお会いできるのを楽しみにしております。皆様よろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 林 愛理

初めまして。
4月より国立国際医療研究センター病院に採用となりました、齋藤菜緒と申します。
学校を卒業後は、福島県にある坪井病院と国立がん研究センター中央病院で主に病理検査に携わらせていただきました。当院でも引き続き病理検査を担当しております。
同じ病理検査ですが、病院によって取り扱う検体や検査項目に違いがあり、日々学びながら業務に励んでおります。
出身は秋田県です。高校を卒業するまでは、山と海の自然に囲まれた田舎で育ちました。電車は、1時間に1本が当たり前でSuicaも使えないような環境だったため、東京に来て数分おきに来る電車で感動しました。東京に来た当初がコロナ禍だったこともあり、生活に慣れるにはまだまだかかりそうですが、1日でも早く業務に慣れ、貢献できるよう努めたいと思います。
コロナが落ち着き、皆様と学会や研修会等でお会いできることを楽しみにしております。

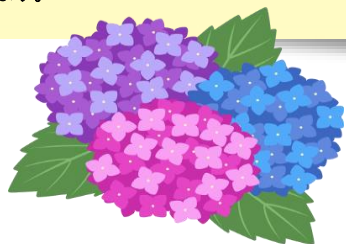


中央検査部門
臨床検査技師 齋藤 菜緒

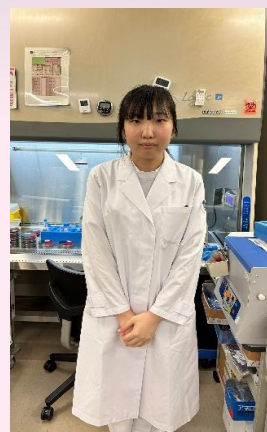
この度、3月16日付で東京病院から国立国際医療研究センター病院に産休代替職員として入職しました。佐々木春貴と申します。配属は生化学検査室です。生化学検査の担当になるのは今回が初めてなので、検査項目や機器の使い方など覚えることもたくさんあり大変ですが頑張っていきたいと思います。趣味は映画鑑賞で、名作映画からマニアックな作品まで幅広く鑑賞しています。同じ趣味の方は、是非お声がけください。
私の性格は負けず嫌いかつ粘り強い性格です。一度決意したことは必ず最後までやり通します。その性格を生かし、どんな壁に対峙しても諦めず、果敢に乗り越えていきたいです。
最後になりますが、心新たに新人として一から学び、信頼して頂ける力強い存在となれるよう精一杯頑張っていく所存です。ご指導、ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 佐々木 春貴



令和5年4月1日付で国立国際医療研究センター病院に配属となりました、有光史織と申します。今年の3月まで文京学院大学にて大学院生として微生物の研究を行って参りました。そのため、本施設が臨床検査技師として初めての勤務となります。配属先は微生物検査室となり研究で触れていたとはいえ、わからない事ばかりなので戸惑うことも多くありますが丁寧に取り組み、学んでいく姿勢を大切に精一杯頑張っていきたいです。趣味は、バンドやアイドルが好きなので大学生の時は友達とライブに参加し楽しんでいました。最近はコロナでライブに参加はできていませんが、コロナが落ち着き、自分の業務に少し余裕が持てるようになってきたらライブに参加し好きなアーティストを近くで応援したいと思います。最後になりますが、国際医療研究センター病院にて多くの事を経験し、多くの事を学んでいき一日でも早く仕事を覚え検査室の力になれるよう日々頑張ります。よろしくお願いいたします。

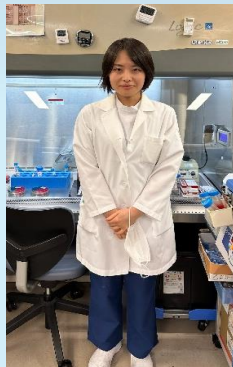


中央検査部門
臨床検査技師 有光 史織

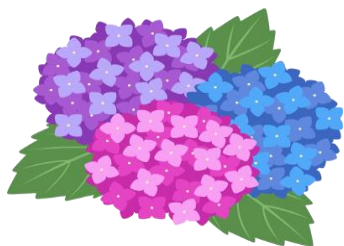
はじめまして。

令和5年1月1日より国立国際医療研究センター病院中央検査部でお世話になっております、丸山 珠実と申します。以前は他施設にて生化学・免疫検査を中心に業務を行っており、臨床検査技師としては8年目になります。微生物検査は初めてのことも多く、ISOを取得している施設に勤務するのも、規模の大きい病院に勤務するのも初めてと、初めてづくしで不慣れなことも多々ありますが、今までの病院勤務経験を活かしながら、少しでも早く戦力となるよう日々努力してまいります。

徐々に出かけやすくなってきましたので、休日には散歩をしながら気分転換をして、大好きな甘いものを食べて、元気を蓄えて業務に励みたいと思います。1日でも早く中央検査部に貢献できるよう精進してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 丸山 珠実



昨年の9月より国立国際医療研究センター病院の採血室に所属している知念 芹菜と申します。前職は臨床ではなく、国立がん研究センター病院で研究補助をしておりました。研究はとても興味深かったのですが、病気の早期発見に携わりたいと強く思うようになり臨床に出ることに致しました。採血は学生時代から経験がなかったのも不安でしたが、主任や先輩技師から丁寧に教えていただき徐々に上達してきたように感じています。また採血室では直に患者さんの声を聞くことができ、やりがいを感じています。業務でストレスが溜まることもありますが、ストレス発散として日々体を動かすことを心がけています。休みの日や仕事終わりに友達とダンスをしたり、フィットネスボクシングに通ったりしています。まだまだ未熟な点が多いので、しっかり勉強に励み、経験を積んでいきたいと思っています。まずは採血の技術力向上に集中して頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 知念 芹菜

はじめまして、小俣朱加と申します。2月より国立国際医療研究センターで非常勤職員として生理検査業務に従事しております。大学卒業後、和歌山県の病院に勤務しておりましたが、数年前に地元埼玉県に戻ってまいりました。今まで自転車通勤しかしたことがなく、始めは大会へ電車通勤することに不安がありましたが、あっという間に4ヶ月が経ち今はだいぶ慣れてきました。

最近、遅ればせながら私の中で韓流ブームがきており、隙間時間を見つけては韓国ドラマを観て非日常を楽しんでいます。体を動かすことも好きで、昨年からゴルフを始め、細々と練習しているところです。

仕事については、ISO取得施設での勤務は初めてでありわからないことも多くありますが、皆様に教えていただき早く覚えていこうと思います。また、笑顔を絶やさず日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。



中央検査部門
臨床検査技師 小俣 朱加

横浜医療センターから転動してまいりました。大畑真利と申します。

前施設は横浜市戸塚区にあり、鎌倉や湘南が近く、観光地として行ったことがある方もいらっしゃるかもしれません。そんな海の香りを感じられる施設で17年もの長い年月を過ごさせていただきました。今回初めての転動でしかもこんなに大きな施設に配属になり、検査技師の人数の多さと病院の敷地の広さに驚きました。初日から皆さんとても優しくして下さって、東京は恐いところだと思っていましたがイメージが変わりました。また、初めてお会いする方ばかりだと思っていたら、以前の施設でお世話になった方や、実習生として関わった方が居たりして安心しました。

こちらの施設は目標を持ったしっかりとした技師さんが多く、私も勉強しなくてはと刺激される毎日です。

通勤には少し慣れてきましたが、検査のやり方の違いなど分からないことが沢山あります。これからご指導どうぞよろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 大畑 真利

Newcomer

Introduction No.5



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センター



この度4月1日付けで東京病院から村山医療センターに赴任しました佐藤です。赴任早々、事務局長という大役を引継ぎましたが、『任期までは頑張ろう』という気持ちでおります。宜しくお願い致します。自己紹介ということですが、趣味はスポーツ観戦（主に野球観戦）です。私自身、スポーツが好きで、高校はスポーツ有名校にスポーツ推薦で入学した経歴があります。そのおかげで全国高校総合体育会の出場経験（優勝は出来ませんでした）があります。ただ、良いことばかりではなく、中学生、高校生時代は無理をして我武者羅に練習をしていたせいでとにかく怪我に悩まされていました。骨折以外の怪我（肉離れ、脱臼、半月板損傷、前十字靭帯断裂）は経験しています。今年こそは（毎年思っていますが）

スポーツ観戦だけではなく、徐々に体を動かそうと思っています。最後になりましたが、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。



臨床検査科
副臨床検査技師長 佐藤 裕子

国立病院機構本部 情報システム統括部 データベース企画課

システム専門調整職 主査 清水 友章 さんも東京・山梨地区会の仲間になりました！

編集後記

日本に旋風を巻き起こした、WBC優勝の興奮も冷めやらぬままに始まった令和5年度もはや2カ月がたとうとしています。ようやく5月8日に新型コロナウイルス感染症も5類に分類され徐々にいろいろな規制緩和や解除で対面での交流会や学会等も多くなると思いますが、引き続き感染防止には心掛けていたいと思います。

終息のみえない新型コロナウイルスですが、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

東京・山梨地区会事務局長
村山医療センター
臨床検査科 副臨床検査技師長